

2022年度一般選抜(TEAPスコア利用型) 記述式問題 解答例

科目:2月3日 TEAP世界史

設問 2	19世紀なかばまでは奴隷制が存続し、そのもとで黒人は奴隷とされてきたが、1860年代に起こった南北戦争を機に奴隷制は廃止され、黒人は自由身分となった。しかし、南部諸州ではその後、公共施設における人種分離などを定めた法制度が確立されていき、黒人はふたたび差別的な待遇を受けるようになった。1950年代になると、キング牧師を指導者とする公民権運動が高まりを見せ、結果としてそれら法制度は1960年代に廃止された。
---------	--

設問 3	植民地支配の実態は、アフリカ人を労働力として使い、商品作物の生産や鉱物資源の採掘をおこない利益を得ることにあったが、それを覆い隠すため、ヨーロッパの進んだ文明を遅れたアフリカにもたらず意義を前面に押し出した。しかし、白人は進んだ文明を持ち、黒人は持たないと一方的に決めつける前提は、黒人に対する差別意識の表れといえる。また、モザンビークの同化民制度はアフリカ人の文明化を促すものではあったが、同化民と認定されたのはアフリカ人住民全体のごく一部にすぎず、そのわずかな人びとでさえ実際には必ずしも白人と同等には扱われないなど、制度の運用の仕方には黒人に対する差別意識がうかがえ、文明化は建前でしかない。
---------	---